

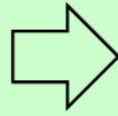
農業用水利用によるマンゴーの収量・品質の向上・規模拡大を目指して

経営体の概要

事業実施前

基幹作物：(施設)マンゴー等0.6ha

経営面積：0.6ha



事業実施後

基幹作物：(施設)マンゴー等1.0ha

経営面積：1.0ha（規模拡大後）

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、放置されていた団地を借りる形で、平成25年から妻と2名で経営に取り組んでいる（開花時期、収穫時には最大で10名の臨時雇用）。

農地は、就農時から事業により給水栓が整備されており、かん水作業に必要な労働時間や経費の節減が可能であったため、余剰時間をマンゴーの土づくりなどの栽培管理に費やすことができ、また経営規模の拡大を図ることも可能となった。

完熟マンゴーの収穫を基本とするため、規格外の品も多く発生する。そのため、今後は補助事業を導入し、加工施設の建設を検討している。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

畑の病害虫対策としてマイナスイオン水を病害虫が発生しやすい新月や満月の日の前に散布している。これにより、農薬の使用を通常の約5%まで抑えることが可能となった。



収穫を控えたマンゴーの袋かけ

②品質・収量の向上

開花後、根元に設置したチューブで十分なかん水を実施している。ただし収穫前にはかん水を極力控え、糖度を上げるなど、品質の向上を図っている。また、土作り等の栽培管理にも力を入れることで、収量の向上といった成果が出始めている。



収穫された糖度の高いマンゴー

③流通・販売の工夫

これまで島外出荷の販売経路に苦慮していたが、平成28年より村のふるさと納税返礼品として活用されている。

また販路拡大を目指し、ジャムなどの加工業務の検討、ネット販売の体制を整えるとともに規模拡大も図る予定。



品質の向上に大きく寄与するかん水チューブ

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：伊是名村

受益面積：520ha

事業期間：平成11年度～平成23年度

事業目的：畑地かんがい

主要工事：地下ダム1箇所

貯水池1箇所

用水路 4.2km

水管理施設 一式

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>

沖縄総合事務局

農村振興課 地域資源係

電話：098-866-1652

(内線：83335)

(平成28年調査時点)